

各 介 護 保 険 関 係 団 体 御 中

← 厚生労働省 老健局 高齢者支援課

介 護 保 険 最 新 情 報

今回の内容

地方公共団体による「ケアプランデータ連携システム」
活用セミナーの YouTube 視聴について
計 3 枚（本紙を除く）

Vol.1 1 8 6

令和5年12月1日

厚生労働省 老健局 高齢者支援課

【 貴関係諸団体に速やかに送信いただきますよう
よろしく願いいたします。 】

連絡先 TEL : 03-5253-1111（内線 3876）
FAX : 03-3595-3670

介護保険関係団体 御中

厚生労働省老健局高齢者支援課
介護業務効率化・生産性向上推進室

地方公共団体による「ケアプランデータ連携システム」活用セミナー
のYouTube視聴について

厚生労働行政の推進については、平素から格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

既にご承知のとおり、我が国では現役世代の人口が減少し、介護人材の確保が困難になる状況下において、介護分野の生産性の向上を図ることが喫緊の課題となっております。

介護現場の生産性向上に関しては、以下のような加速化の動きがあります。

- ①改正介護保険法において、都道府県に対し、介護サービスを提供する事業所や施設の生産性向上に資する取組が促進されるよう努める旨の規定がされたこと
- ②令和5年度補正予算案に「介護サービス事業者の生産性向上や協働化等を通じた職場環境改善事業」等の支援策を盛り込み、11月10日に閣議決定されたこと
- ③「デジタル行財政改革会議」や「行政事業レビュー2023 秋の年次公開検証」において、介護現場でのデジタル化推進について言及され、重要な施策として積極的な対応を求められていること

そのような中、介護現場の生産性向上に寄与する有効な手段として国民健康保険中央会にて構築・運用されている「ケアプランデータ連携システム」を地方公共団体において有効に活用いただき、管内の事業所における生産性向上の取組を促進することを目的に、『地方公共団体による「ケアプランデータ連携システム」活用セミナー』が別添のとおり開催されます。本セミナーは、地方公共団体及び国民健康保険団体連合会へ向けて開催され、本システムの活用に向けて地方公共団体に期待していること等をご理解いただける内容です。都道府県・市区町村向けのセミナーとなりますが、ケアプランデータ連携システムにご関心のある介護事業者等もご視聴いただけるよう、視聴用のYouTubeを開設しましたので、別添1のURLからアクセスいただくとともに、下記のとおり当日の資料URLも共有いたしますので、積極的に受講いただけるようお願いいたします。

あわせて、先般、お知らせした『生産性向上中核人材育成プログラム「デジタル・テクノロジー基本研修」』についても、別添2のとおり再周知いたします。本研修は介護現場でデジタル技術を有効に活用できる人材育成に大きく寄与するものと考えていますので、会員事業所が積極的に受講いただけるよう、各地方支部や会員事業所に対して積極的な周知・受講勧奨をお願いいたします。

【地方公共団体による「ケアプランデータ連携システム」活用セミナー資料】

https://www.mhlw.go.jp/stf/cp_seminar.html ※資料は完成次第掲載

以上

ケアプラン データ連携システム

きっといま、日本にいちばん必要なDX。

地方公共団体による 『ケアプランデータ連携システム』活用セミナー

地域でのデータ連携による負担軽減に向けて ～いま自治体の皆さまに考えてほしいこと～

日時：2023年**12月6日**(水) 13:30～15:30

会場：Zoom (YouTube Live併用) によるオンライン開催

対象：地方公共団体／国民健康保険団体連合会

定員：2,000名 (1団体あたり1アカウントでのお申し込み)

プログラム

地方公共団体による介護生産性向上の支援について

1 ～自治体の皆様に期待すること“ケアプランデータ連携を中心に”～

厚生労働省老健局高齢者支援課 室長補佐 秋山 仁 氏

パネルディスカッション

テーマ：『ケアプランデータ連携システムを普及させるポイント』

2 モデレーター 株式会社TRAPE 代表取締役 鎌田 大啓 氏

パネリスト 長崎県、静岡市、鳥取県国民健康保険団体連合会、
(株)トライドケアマネジメント(居宅介護支援事業所)、
(株)新生メディカル(介護保険指定事業所)、NDソフトウェア(株) (介護ソフトメーカー)
オブザーバー 厚生労働省老健局、(公社)国民健康保険中央会



3 ケアプランデータ連携システムの周知広報について

～国民健康保険中央会からのコンテンツご紹介と普及拡大のお願い～

YouTubeライブ 参加方法

※ プログラムの内容は変更となる可能性があります。
予めご了承ください。

以下のURLからアクセスいただき、ご視聴ください。

<https://x.gd/aaffz>

Zoomウェビナーの内容は、YouTubeにてライブ配信いたします。
Zoomウェビナーに申し込みされていない方は、こちらのURLに
アクセスしてYouTubeから視聴していただくことが可能です。
なお、視聴制限はございません。Zoomウェビナーのストリーミング
配信であるため、再生遅延が発生することをご了承ください。



DIGITAL TECHNOLOGY

デジタル・テクノロジー基本研修

参加無料

「生産性向上と言われているけど、何をしたらいいのかわからない」
「新しい技術やツールを上手に活用して、利用者さんに対するサービスを向上したい」

高齢者人口の増加による介護需要の増大と、介護人材の不足が叫ばれる中であっても、職員の負担軽減と質の高い介護サービスの安定的・持続的提供を同時に担保（達成）していくためには、介護現場の業務改善が不可欠です。そこで日本介護福祉士会では、介護現場での課題解決や質の高いケア実践のため、介護ロボット・ICT等のテクノロジーの効果的な活用を通して、介護現場の業務改善をリードできる人材を養成する研修を実施します。

2023年11月～2024年3月

コースによって異なります
裏面をご覧ください

● 研修目的

介護現場における生産性向上方策のひとつとして、テクノロジーを効果的に活用し、より質の高いケアを実践できる介護職員を養成する

● 対象者 以下の条件に該当する方

- ・介護現場での実務経験が3年以上の方
- ・自職場での業務改善や介護ロボット・ICT導入に取り組みたい方

本モデル研修は、厚生労働省令和5年度老人保健健康増進等事業（老人保健事業推進費等補助金）に採択された、「介護現場の生産性向上を促進するための中核人材のスキル強化と習得プログラムに関する調査研究」による事業です。



公益社団法人日本介護福祉士会 〒112-0004 東京都文京区後楽1-1-13 小野水道橋ビル5階

TEL 03-5615-9295（平日10:00～17:00 土日祝を除く） お申し込みまでの流れは裏面をご確認ください

詳細・お申し込み

